本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

この度は弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

P

USER'S GUIDE
1934·1935＊JA

CASIO

安全上のご注意

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動・（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると、故障の原因になります。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えを取っておいてください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

「サビ」

● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。

「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。

「かぶれ」

● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。
● 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶パネルの交換について

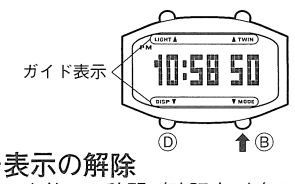
液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■デモ表示について

本機は工場出荷時に本機の表示を自動的に見せる「デモ表示」に設定してあります。（デモ表示中は、通常のボタン操作はできません）



●デモ表示の解除

Ⓑボタンを約2～3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。
時刻モードになります。

●デモ表示の設定

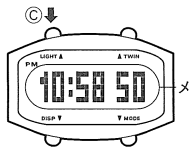
解除するときと同様にⒷボタンを約2～3秒間押し続けます。

★ガイド表示の点灯／消灯(モジュール1934のみ)

デモ表示でⒹボタンを押すごとに、ガイド表示の点灯／消灯を切り替えます。
※ガイド表示の点灯／消灯はデモ表示を解除しても有効となります。

■ライト点灯について

どのモードでも、Ⓒボタンを１回押すと約2秒間文字板が発光します。



〈ご注意〉

●機種により発光部分が異なるため、メイン表示部以外が見えない場合があります。特に、ホームタイムとデュアルタイムの確認にはご注意ください。
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にⒸボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴りだすと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

■製品仕様

水晶発振周波数：３２,７６８Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
基 本 機 能：時刻表示＝時・分・秒
(ワールドタイム)　カレンダー表示＝月・日・曜日
　40都市、サマータイム設定機能
テ レ メ モ：名前＝8文字、電話番号＝12桁
　メモリー件数＝最大30件
　自動ソート、残りメモリー数表示
ア ラ ー ム：セット単位＝分、電子音＝20秒間
　時報　毎正時に2回電子音で報知
ストップウオッチ：計測単位＝1/100秒
　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
　通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1･2着同時計測
そ　の　他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、モニターアラーム、デモ機能、ELバックライト、ガイド表示機能（モジュール1934のみ）
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
　CMOS-LSI
使 用 電 池：CR-1612（電池別途販売）
　※電池はカシオ指定のものをご使用ください。

電 池 寿 命：＝約18ヶ月

（上記電池寿命は、1日当たり電子音を20秒間、ELバックライトを2秒間使用した場合です。
なお、ELバックライトの使用状況により、電池寿命は短くなります。
例：1日当たり6秒使用
　モジュール1934＝約17ヶ月
　モジュール1935＝約16ヶ月
　1日当たり10秒使用
　モジュール1934＝約14ヶ月
　モジュール1935＝約13ヶ月）

※モジュール番号は時計の裏面に刻印されています。

操作のしくみと表示の見方 Ⓑボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります

※表示は機種により異なる場合があります。
※本書の表示例は、モジュール1934を使用しています。（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）

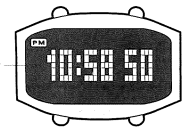
時刻モード

●モジュール1934
（ガイド表示あり）
Ⓒボタン　Ⓐボタン



時・分・秒

●モジュール1935
（ガイド表示なし）

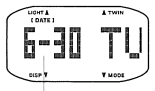


Ⓓボタン　Ⓑボタン
ガイド表示

※Ⓑボタンを押してストップウオッチモードから戻ると、時刻モードで表示している時刻の都市コードを一瞬表示します。

★カレンダー切替え

Ⓓボタンを押すとカレンダーを約1秒間表示します。



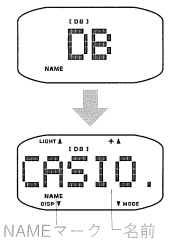
月・日・曜日

★デュアルタイム一時表示

Ⓐボタンを押すとデュアルタイムを約2秒間表示します。
※詳しくは「ワールドタイムの使い方」をご覧ください。

Ⓑ

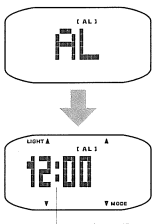
テレメモモード



NAMEマーク　名前

Ⓑ

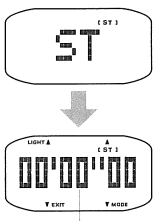
アラームモード



アラーム時・分

Ⓑ

ストップウオッチモード



計測時間

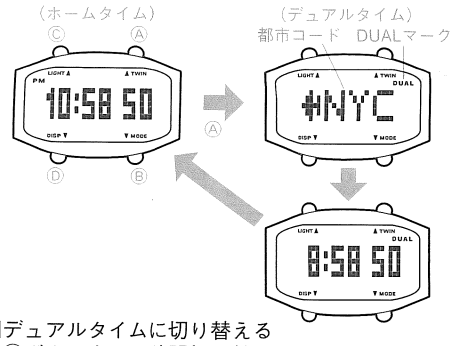
Ⓑ

※テレメモモードで1～2分間そのままにしておくと、自動的に時刻モードに戻ります。

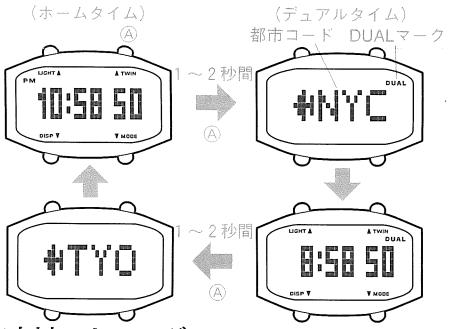
ワールドタイムの使い方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

本機のワールドタイムはホームタイム（基本時刻）と、あらかじめ登録されている40都市の中から選べるデュアルタイム（別時刻）の２つがあり、ワンタッチで切り替えて使うことができます。
※ホームタイムも登録されている40都市から選ぶことができます。

■デュアルタイムを一時的に見る
・Ⓐボタンを1回押す



■デュアルタイムに切り替える
・Ⓐボタンを1～2秒間押し続けます
※ホームタイムに戻すには、もう一度Ⓐボタンを1～2秒間押し続けます。



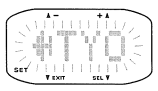
●時刻・カレンダーについて

ホームタイムとデュアルタイムは、セットされている都市の時差にしたがい連動しています。
どちらかの時刻・カレンダーをセットすれば、都市コードを変更しても時刻・カレンダーを修正する必要はありません。

●都市コードのセット

ホームタイムまたはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。

1 Ⓓボタンを1～2秒間押し続けます。
→「都市コード」が点滅します。



例）東京

2 Ⓐボタンまたは Ⓒボタンを押します。
→Ⓐボタン＝都市コードが1つ進む
Ⓒボタン＝都市コードが1つ戻る
※押し続けると早送りできます。
※表示される都市については、下記の「都市コード一覧」をご覧ください。

3 Ⓓボタンを押します。
→点滅が止まります。

★サマータイムについて

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。
なお、サマータイムはホームタイムもしくはデュアルタイムのそれぞれにセットできます。

●サマータイムのセット

ホームタイムまたはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。

1 Ⓓボタンを1～2秒間押し続け、「都市コード」が点滅したら、Ⓑボタンを1回押します。
→ONまたはOFFが点滅します。



OF＝OFF（通常時間）
On＝ON（夏時間）

2 Ⓐボタンを押します。
→ONまたはOFFが切り替わります。

3 Ⓓボタンを押します。
→点滅が止まります。

●時刻・カレンダーのセット

1 Ⓓボタンを1～2秒間押し続け、「都市コード」が点滅したら、Ⓑボタンを2回押します。
→「秒」が点滅します。



2 時報に合わせてⒶボタンを押します。
→秒が00秒になります。
※00～29秒のとき＝切り捨てられる
30～59秒のとき＝１分繰り上がる

3 以後、Ⓑボタンを押すごとに「秒→時→分→12/24時間制切替え→年→月→日→…」の順でセット箇所が点滅しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

4 Ⓐボタンまたは Ⓒボタンを押します。
→Ⓐボタン＝1つ進む
Ⓒボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。
※12/24時間制切替えのときは、Ⓐボタンを押して切り替えます。

5 セットが終わったら、Ⓓボタンを押します。
→点滅が止まります。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、24時間制、DSTにご注意ください。
※「年」は1995～2039年までセットできます。
※曜日は年月日をセットすると、自動的にセットされます。
※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

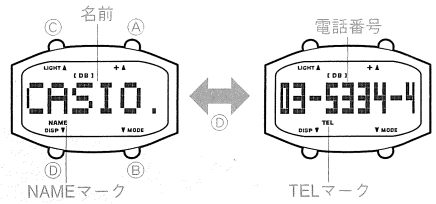
●都市コード一覧

コード	時差	都市名	国　名	コード	時差	都市名	国　名
ADL	+9.5	アデレード	オーストラリア	LON	+0.0	ロンドン	イギリス
ANC	-9.0	アンカレジ	アメリカ合衆国	MEX	-6.0	メキシコシティ	メキシコ
BER	+1.0	ベルリン	ドイツ	MIA	-5.0	マイアミ	アメリカ合衆国
BKK	+7.0	バンコク	タイ	MIL	+1.0	ミラノ	イタリア
CAI	+2.0	カイロ	エジプト	MLE	+5.0	マーレ	モルディブ
CCS	-4.0	カラカス	ベネズエラ	NOU	+11.0	ヌーメア	ニューカレドニア(仏領)
CHI	-6.0	シカゴ	アメリカ合衆国	NYC	-5.0	ニューヨーク	アメリカ合衆国
DAC	+6.0	ダッカ	バングラデシュ	PAR	+1.0	パリ	フランス
DEL	+5.5	デリー	インド	PPG	-11.0	パゴパゴ	アメリカ領サモア
DEN	-7.0	デンバー	アメリカ合衆国	RGN	+6.5	ヤンゴン	ミャンマー
DXB	+4.0	ドバイ	アラブ首長国連邦	RIO	-3.0	リオデジャネイロ	ブラジル
GUM	+10.0	グアム	グアム島（米領）	ROM	+1.0	ローマ	イタリア
HKG	+8.0	ホンコン（香港）	中華人民共和国	SEL	+9.0	ソウル	大韓民国
HNL	-10.0	ホノルル	アメリカ合衆国	SFO	-8.0	サンフランシスコ	アメリカ合衆国
IST	+2.0	イスタンブール	トルコ	SIN	+8.0	シンガポール	シンガポール
JED	+3.0	ジッダ	サウジアラビア	SYD	+10.0	シドニー	オーストラリア
JRS	+2.0	エルサレム	イスラエル	THR	+3.5	テヘラン	イラン
KBL	+4.5	カブール	アフガニスタン	TYO	+9.0	東京	日本
KHI	+5.0	カラチ	パキスタン	WLG	+12.0	ウェリントン	ニュージーランド
LAX	-8.0	ロサンゼルス	アメリカ合衆国	YVR	-8.0	バンクーバー	カナダ

※この表は1998年6月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

テレメモの使い方 以下の操作はⒷボタンを１回押してテレメモモードで行ないます。

テレメモは1件につき名前8文字、電話番号12桁を最大30件までメモリーできます。
テレメモモードに切り替えると、前回見たデータを表示します。



※名前と電話番号は、右から左に流れるスクロール表示です。

●データを探す

1 テレメモモードでⒶボタンを押すごとに、名前順（アルファベット順）に表示されます。
※押し続けると早送りができます。

2 名前を探したら、Ⓓボタンを押すと電話番号を表示します。

●データを入力（修正）する

1 Ⓐボタンを押して、残りメモリー数または修正したいデータを表示させます。
※データがすでに30件メモリーされているときは、残りメモリー数の代わりに“FULL”と表示されますので、不要なデータをクリアーしてください。

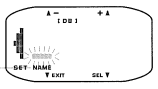


（残りメモリー数表示）



（FULL表示）

2 Ⓓボタンを1～2秒間押し続けます。
→名前部の1桁目が点滅します。



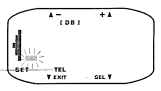
NAMEマーク

3 Ⓐボタンまたは Ⓒボタンを押します。
→Ⓐボタン＝1つ進む
Ⓒボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。

4 Ⓑボタンを押します。
→点滅箇所が右に移動します。
※Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が名前1桁目～8桁目～電話番号1桁目～12桁目と移動します。

操作３と４を繰り返し、名前を入力します。
※名前部の最初と最後にエンドマーク（◀）がつきます。
入力文字＝（空白）、A～Z、0～9、
.（ピリオド）、－（ハイフン）

5 名前の入力が終わったら、Ⓑボタンを押して、電話番号部の1桁目を点滅させます。



TELマーク

6 Ⓐボタンまたは Ⓒボタンを押します。
→Ⓐボタン＝1つ進む
Ⓒボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。

7 Ⓑボタンを押します。
→点滅箇所が右に移動します。

操作６と７を繰り返し、電話番号を入力します。
※電話番号部の最初と最後にエンドマーク（◀）がつきます。
入力文字＝（空白）、0～9、－（ハイフン）

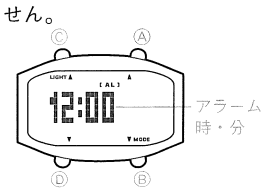
8 入力が終わったら、Ⓓボタンを押します。
→並び替え（SORT）表示となり、入力終了です。
※続けて入力するときは１～８を繰り返します。
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。
※末尾の空白はセット状態以外では“.”（ピリオド）で表示されます。

●データのクリアー

1 Ⓐボタンを押してクリアーしたいデータを表示させます。
2 Ⓓボタンを1～2秒間押し続けて名前部1桁目を点滅させます。
3 ⒶボタンとⒸボタンを一緒に押すと、“CLR”と表示後データがクリアーされます。
※クリアー後は新たなデータを入力できます。
4 Ⓓボタンを押して終了です。

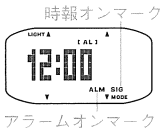
アラーム・時報の使い方 以下の操作はⒷボタンを２回押してアラームモードで行ないます。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。
※アラーム・時報は時刻モードで選ばれている時刻（ホームタイムまたはデュアルタイム）に合わせて鳴ります。
※時刻モードで時刻の切り替えを行なった場合でも、アラーム時刻およびアラーム・時報のオン／オフ設定は変わりません。



●アラーム・時報のオン／オフ

Ⓐボタンを押すごとにマークが点灯／消灯を繰り返します。
それぞれのマークが点灯しているときがオンで、アラーム・時報が鳴ります。



●鳴っている電子音を止めるには

どのモードでも、いずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム

Ⓐボタンを押し続けると、押している間アラーム音が鳴ります。

●アラーム時刻のセット

1 Ⓓボタンを1～2秒間押し続けます。
→「時」が点滅します。
※アラームオンマークが点灯し、アラームが自動的にオンとなります。



アラームオンマーク

2 Ⓑボタンを押すと、点滅箇所（セット箇所）が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

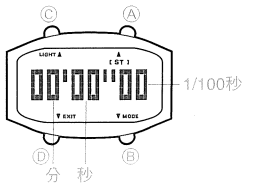
3 Ⓐボタンまたは Ⓒボタンを押します。
→Ⓐボタン＝1つ進む
Ⓒボタン＝1つ戻る
※押し続けると早送りできます。

4 「時」と「分」を合わせ終わったら、Ⓓボタンを押します。
→点滅が止まります。

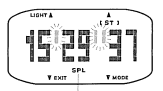
※「時」のセットのとき午前／午後(PM)、24時間制、DSTにご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方 以下の操作はⒷボタンを３回押してストップウオッチモードで行ないます。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測時間を超えると、自動的に0に戻って計測を続けます。



★計測終了後Ⓓボタンを押すと、計測値が“０”に戻ります。（リセット）
★計測中にⒹボタンを押すと表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。
スプリット計測を解除するには、もう一度Ⓓボタンを押します。
スプリット表示のまま他のモードに切り替えると、スプリット表示は自動的に解除されます。



（スプリット表示）

スプリットマーク

●通常計測

Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ
スタート　ストップ　リセット

〈積算計測〉
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒶボタンを押してスタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

Ⓐ → Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●１・２着同時計測

Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓓ
スタート　1着ゴール　2着ゴール　2着タイム表示　リセット
（1着タイム表示）